

## 司令との懇談や鑑識体験も 中学生が陸自で職場体験



自衛隊静岡地方協力本部三島募集案内所（所長・林正士 1等陸尉）は11月7日（木）と8日（金）、長泉北中学校（駿東郡長泉町）の2年生7人と裾野東中学校（裾野市の2年生1人の職場体験学習に協力した。

初日は、長泉北中学校の生徒が陸上自衛隊板妻駐屯地（御殿場市）を訪問。駐屯地や部隊について隊員から説明を聞いた後、軽装甲機動車などの車両を見学し、隊員が訓練で使用する障害走コースなどを体験した。

最後は同駐屯地司令の兜智之1等陸佐との懇談も行い、生徒たちは「どうして自衛隊に入ったんですか」など、和やかな雰囲気での司令との会話を楽しんでいた。

2日目は、裾野東中学校の生徒も加わり、陸上自衛隊富士駐屯地（駿東郡小山町）を訪れた。

自衛隊の中で警察の役割を担う警務隊では指紋を採取する鑑識作業を体験し、衛生班ではAEDの使い方や体験するなど、多種多様な職種への理解を深めた。

また、16式機動戦闘車が足場の悪い道を渡る訓練や、戦車などを整備する装軌車整備工場を見学するとともに、戦車回収車や96式装輪装甲車といった自衛隊ならではの車両に体験試乗し、盛りだくさんな内容に満足げな様子だった。

2日間の学習を終えた生徒たちは、「自衛隊の人たちは話が面白く楽しかった」「後輩にも自衛隊の職場体験を勧みたい」と笑顔で感想を話していた。

三島所は、引き続き担当地域の学校の職場体験を支援するとともに、自衛官という職業について理解の促進を図っていく。

## 多用途支援艦「えんしゅう」入港 田子の浦ポートフェスタ

自衛隊静岡地方協力本部（本部長・田代裕久1等陸佐）は11月17日（日）、田子の浦港（富士市）で開催された田子の浦ポートフェスタ2024で広報活動を行った。

これは同港のにぎわい創出を目的に行われたイベントで、海上自衛隊の多用途支援艦「えんしゅう」や民間の帆船が入港して船内見学や乗船体験を行ったほか、自衛隊、海上保安庁、税関、港湾関係機関等がPRブースを設置した。

静岡地本は「えんしゅう」と陸上自衛隊第34普通科連隊（御殿場市）とともに自衛隊の広報ブースを開設。自衛隊紹介パネルの展示や迷彩服試着体験、陸自車両展示、えんしゅうの艦内見学を行った。

艦内見学には1415人が訪れ、艦橋や標的管制室、甲板などを見学した。見学者はめったに見ることのできない自衛隊の船や自衛官の仕事に興味津々な様子で、「この船はどんな任務に就いているんですか」「この機械は何ですか」と乗員に質問を投げかけていた。

また、当日は富士市の観光PR大使、第39代かぐや姫の小西沙季さんが「えんしゅう」1日艦長に任命され、海上自衛官の制服にたすきを掛け、笑顔で乗艦者との記念撮影に応じた。

静岡地本は、今後も部隊と連携して県内のイベントに参加し、自衛隊の活動への理解を深めてもらえるよう広報活動に努めていく。

